

# Crazy Hoop



SINCE 2020

PRODUCE / EVENT MANAGEMENT

SHIBATA ストリートバスケットボール実行委員会

## CRAZY CONCEPT

# 常識に囚われるな、 クレイジーになれ。

YOU DON'T NEED A WITNESS,  
DOUBT COMMON SENSE,  
BE CRAZY.

良い歳こいて夢なんて追って、馬鹿みたい。  
ロマンなんかで飯食えないよ、  
商売になるの？それ儲かるん？  
そんなアイデア、俺だって前から考えてたよ。  
なに青くさい事言ってんだ。  
ただのピクマウスだろ。

何かを成し遂げたい。そう思い  
ふと立ち上がり、  
新しい事に挑戦するとこんな事を言われ、  
時に人は、必ず見えない大きな壁にぶち当たります。  
試行錯誤を繰り返して立ち向かうも、  
いつしか心が折れてしまい...  
そして挑戦する事を辞めてしまうのです。

クレイジーフープは、  
これからもこんな事たくさん言われて続けても  
刺激的な事に諦めず挑戦して行きます。  
なぜならそれくらいじゃないと  
ワクワクする事を生み出せないからです。  
何度も言います、  
壁をぶち破ってでも成し遂げたい何かに向かう、  
同じ事を感じている志高いキミ。  
メッセージをください。  
ワクワクする事を我々と一緒に成し遂げましょう。  
夢を諦めないでください。

## PRODUCER ART DIRECTOR MATSUDA

SHIBATA ストリートバスケットボール実行委員長  
総合プロデューサー  
アートディレクター 松田

1980年生まれ新潟県新潟市出身。2000年に上京し、大手広告代理店のデザイナー経験を経て、2007年に東京の自由が丘・中目黒でデザイン事務所を開業。全国の大手・中小企業や個人、町おこしのブランディング企画やデザインの実例は100事例以上。大手に負けにくい良い商品・サービスを世の中に提供しているはずなのにその魅力がうまく伝わらず、埋もれている物を見つけ出し、ブランディング・デザインのかでその魅力を再構築し、ヒット商品へ導く手助けをしている。有名なヒット商品の広告デザイン実績、広告デザイン賞にて多数の受賞歴もあり。地元の新潟市で2020年12月に『SHIBATA ストリートバスケットボール』を個人で自主開催するという夢を叶えるため、2019年にUターン移住。主に今は新潟を拠点に東京の企業数社のブランドビルディングを手がけ、デザインのかで業績を上げるお手伝いしている。

## CRAZY PASSION

気づいたんです。  
いい歳こかないと夢を夢じゃなく、  
実現までなかなかもっていくという事が  
できない事ばかりだった事に。  
マジで。

もう30年前、私が中学生の頃の新潟市祭で  
商店街に手作りで開催されたストリートバスケットイベント。  
あれは本当にワクワクドキドキしたのを覚えています。

東京の自宅と事務所を引き払い  
2019年にUターン移住しましたが、  
あの小さなストリートバスケットイベントの思い出を忘れられず  
デザイナーとして、アートディレクターとして  
今の時代に本気でやったらどうなるのか  
表現してみたくなったんです。  
今までスポーツイベントの開催経験なんかひとつもなく  
まったく協力者がいない状況からイチから仲間集めを始め、  
ブランドロゴを制作して名刺を配り、  
何の宛でもないイベント企画書を片手に  
新潟で夢とロマンを1年中語り続けました。  
たくさんの人にそんなの無理でしょと相手にされなかったけれど  
最終的にはこのロマンに乗ってくれた  
多くの人に本当に助けてもらえました。  
このワクワクに賛同してくれて  
新たに出会った仲間たちで削り上げたクレイジーフープ。  
2020年、ようやくゼロからイチを生み出す事ができました。

ストリートバスケットは「大人の遊び」です。  
いろいろなリスクを背負って、遊びを本気で表現しています。  
そして、大人になってからバカな事を  
本気でやりたい人の輪ができる事を願い、  
私たちはこの活動に対し  
「Crazy Hoop (狂った輪)」を名乗っています。

いい歳こいて何やってんだよって、  
たくさん言われましたが  
でもいろいろ四苦八苦やってみて、マジで気づいたんです。  
「いい歳こかないと」夢じゃなく実現まで  
なかなかもっていく事ができない事ばかりだった事に。  
いい歳こいて、夢を描いて、何者かになりたい仲間達が協力し合って  
何かを成し遂げる事には、感動があります。

私たちはクレイジーフープを通じて、  
若い世代に興味をもってもらいたい。  
え!? こんな事、新潟でやっていいんだ! っていうことを  
あの頃の中学生だった自分のような子達に感じてもらいたい。  
そして、いつか大人になって  
クレイジーな人たちが昔いたなあって思い出してもらって。  
その時は、みんながクレイジーな夢を叶える番です。

人生は一度きり、人生の時間は有限です。  
輝いてやれる時間はきっと限られてきます。  
是非、たくさんの人に協力してほしいと思っています。  
そして、感動を共有をしましょう。

さいごに。  
小さい頃に初めて買った  
ナイキエアジョーダン7は、7です。



SHIBATA ストリートバスケットボール実行委員会 2024

実行委員長 / 総合プロデューサー  
アートディレクター  
松田 英幸

副実行委員長 / バトルディレクター  
初瀬 義一

バトルアドバイザー / キャスティングディレクター  
久志田 烈

